２０１９年９月 作成

2020年度[春学期]
セメスター語学留学生 募集要項

★目的

このプログラムは、同志社立学の精神を生かし、本学のグローバル人材育成の一環として実施するものです。急速に進む国際化時代をふまえ、学生諸姉の英語の理解力と表現力を高めるとともに、現地での生活を通して、両国相互の社会、文化、習慣などに対する理解を持つ国際感覚豊かな人材の育成を目的としています。

★募集対象

全学部の１年次生（留学時２年次生）。ただし、音楽学科演奏専攻、国際教養学科、医療薬学科、看護学科および食物栄養科学科管理栄養士専攻の学生は、この制度参加により卒業時期が１年遅れるので注意してください。

また、現地での生活に支障ない程度の英語力を有していることが必要です。このため、選考にあたって筆記試験を実施します。但し、次の①②のいずれかに該当する学生は、筆記試験を免除します。

【筆記試験免除対象】

① 以下の検定試験の級またはスコアを有する者
実用英語技能検定２級／ＴＯＥＩＣ４５０／ＴＯＥＦＬ-ｉＢＴ４５（スピーキング１２）／ＴＯＥＦＬ-ＩＴＰ４５０／ＩＥＬＴＳ5.0（スピーキング5.0）

② 課外講座「留学英語基礎講座」を修了した者、または履修中の者

※ＴＯＥＦＬ-ｉＢＴは、当該試験日のスコアのみ有効とします（ＭｙＢｅｓｔ™スコアは適用しない）。

※セメスター語学留学制度は、ＴＯＥＦＬ-ｉＢＴ-５７／ＩＴＰ４９０／ＩＥＬＴＳ5.5未満の英語力の学生を対象としています。これより高い英語力を有する学生は、協定大学留学または認定留学制度での留学（国際教養学科生を除く）を検討してください。

★留学時期

２０２０年度春学期（本学学年暦）

★募集人数

１０名

★事前授業・事後授業など

参加者は、事前授業（３回）、事後授業（１回）に参加しなければなりません。事前授業の日程（予定）は次のとおりです。また、事後授業を帰国後の１０月に行います。この他、留学期間中には月報の提出を、留学前および帰国後にはＴＯＥＩＣ受験を求めます。

① １１月６日（水）１６時４５分から　京田辺キャンパス
② １月１５日（水）１６時４５分から　京田辺キャンパス
③ ３月　４日（水）１０時００分から　京田辺キャンパス（ＴＯＥＩＣ受験を含む）

※上記のほかに、パシフィック インターナショナル アカデミー（ＰＩＡ）での「サービス・ラーニング」や「コミュニティ・サービス」の選択を希望する場合は、１１月７日（木）から１週間以内にスピーキングテスト（日時は個別に対応）及び １１月１３日（水）１５時からにプレイスメントテストを実施します（該当者のみ、両キャンパスで実施）。

★参加費用（学生負担）

参加学生は、本学所定の学費、留学に係る費用一切（留学中の授業料・滞在費など）を負担しなければなりません。参加費用は、受講するコースにより異なりますので、各大学の「参加費用」の項（ｐｐ.4－１３）を参考にしてください。なお、このうち現地費用は、国際課が一旦立て替えてから、円建てで学生保証人に対して請求します（グリフィス大学のホームステイ滞在費は現地払い）。

★本学からの補助金（予定）

留学生に対しては、以下の１と２のいずれか低い額を、補助金として支給します。

１．留学対象学期の授業料と実験実習料を合計した額の２／３。
２．英語研修機関の授業料（オプションとして追加した科目を除く）及びサービス・ラーニングに要する費用の合計額。

★ビザ・航空チケットなどの手配

留学に必要となる学生ビザ（アメリカ・オーストラリア・フィリピンへの留学生）や航空チケットなどは、原則として学生が個人で手配するものとします。必要な場合、国際課がビザ取得のサポート会社などを紹介します。

★海外旅行保険など

海外旅行保険、海外アシスタンス会員は、本学所定のものに加入します。保険料および会員費は、英語研修機関の授業料などと併せて、本学が保証人に対して請求します。

★単位授与

留学先教育機関の英語プログラムなどのうち、本学が認めたプログラム（サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスプログラムを含む）を修了した場合は、本学設置科目を履修したものとして学修時間に応じて単位を授与します。ただし、本学が定める事前・事後、および留学中の指導を受け、所定の提出物を期限内に提出しなければなりません。なお、単位授与科目は、本学ウェブサイトでご確認ください（トップページ>国際交流>中・長期留学プログラム（学部）>セメスター語学留学プログラム）。

★他の留学制度への応募

セメスター語学留学制度を利用した学生は、さらに協定大学留学制度、認定留学制度、または国際教養留学制度を利用して海外に留学することができます。また、留学期間中に募集する協定大学留学制度に留学先から応募することも可能です。詳しくは、国際課にお尋ねください。

2019年9月 作成

＊＊＊ 出願・学内選考について ＊＊＊

★対象

全学部１年次生（留学時２年次生）。ただし、１ページ目記載の「募集対象」の項目を必ず確認してください。

★募集人数

１０名（各大学５名以内）

★選考スケジュール（予定）

出願時期	９月３０日（月）～１０月１１日（金）１８：３０まで
筆記試験	１０月１６日（水）１５時から（注１） 【京田辺･今出川キャンパスで同時に実施】 ※以下のいずれかに該当する学生は、筆記試験を免除します。 ① 以下の検定試験の級またはスコアを有する者 実用英語技能検定２級／ＴＯＥＩＣ４５０／ＴＯＥＦＬ-ｉＢＴ４５（スピーキング１２）／ＴＯＥＦＬ-ＩＴＰ４５０／ＩＥＬＴＳ５.０（スピーキング５.０） ② 課外講座「留学英語基礎講座」を修了した者、または履修中の者（注２）
面接試験	１０月１９日（土）１０時から【今出川キャンパス】（注３）
最　終 合格発表	１０月２９日（火）

（注１）筆記試験で所定の点数（５０%）に達しない場合は、面接試験の評価にかかわらず、不合格となります。

（注２）留学英語基礎講座を修了した場合はそのグレードレポートを、履修中の場合は、そのプレイスメントテストを本筆記試験に代わるものとして使用します。

（注３）面接試験では、英語で１分間程度の自己紹介をしていただきます。

★出願書類

- ２０２０年度春学期　セメスター語学留学出願書
- 志望理由書（日本語）
- 保証人の同意書
- 実用英語技能検定試験、ＴＯＥＩＣ、ＴＯＥＦＬ、またはＩＥＬＴＳの成績表原本（受験時期不問）（筆記試験免除対象となる場合のみ）

問合せ先：国際部国際課

【アメリカ】パシフィック インターナショナル アカデミー

★英語研修機関・大学

ワーナー・パシフィック大学（WPU: Warner Pacific University）内の英語学校パシフィック・インターナショナル・アカデミー（PIA: Pacific International Academy）で受講します。WPUはオレゴン州最大の都市ポートランドの南東部にキャンパスを持つプロテスタント系の共学私立大学。１９３７年の設立で、学生数約1,３００人のリベラルアーツカレッジです。

★プログラム内容

最初の１ターム（１０週間）は、英語集中プログラム（Intensive English）を受講します。２ターム目は、引き続き英語集中プログラムを受講（オプションとして、コミュニティ・サービスのプログラムの追加が可能）するか、サービス・ラーニングのいずれかを選択します。なお、プログラムを図示すると次のとおりです。

○Spring Term

４月上旬～６月上旬

英語集中プログラム
（20h/w）

○Summer Term

６月中旬～８月下旬

英語集中プログラム（20h/w）
【オプション】
・コミュニティ・サービス（Level3 以上で選択可能）

６月中旬～８月上旬

サービス・ラーニング【授業２週間＋職務６週間】
（Level3 以上で選択可能）

※サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスの特徴は以下のとおりです。

・コミュニティ・サービスまたはサービス・ラーニングのいずれを履修する場合も、一定のスピーキング力を含む英語力を有していることが必要です。このため、ＴＯＥＦＬ-ｉＢＴ／ＩＥＬＴＳ（スピーキング・セクションを含む）で筆記試験免除となる点を満たしていない場合（筆記試験合格者、留学英語基礎講座受講／修了もしくはＴＯＥＩＣ／ＴＯＥＦＬ-ＩＴＰ／実用英語技能検定による筆記試験免除者）は、第１回目の事前授業の翌日以降に所定の試験の受験が求められます（ｐｐ.1-２「事前授業・事後授業など」参照）。

・実践的な英語に磨きをかけることを主な目的とした就業体験です（専門性を高めるための体験学習ではありません）。
・サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスの開始前の現地事前授業では、アメリカのビジネス文化やクロスカルチャーなど、職務を効果的に進める上での必要な知識を学びます。
・サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスでの派遣先実績は、本学ウェブサイトでご確認ください（QRコード）。
・コミュニティ・サービスは、２ターム目に週１～２日行います。

★滞在方法

ホームステイ

★参加費用

３つの基本プログラムごとの参加費用を以下に示します。あくまでモデルケースですので、最初のターム（Spring Term）終了時の成績などによっては、次のターム（Summer Term）の履修内容が制限される場合があります。
また、以下に示す金額の他に、昼食代、通学費、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。
なお、学生ビザ（I－20）取得のためには、留学中の費用を自己資金で支弁できることが条件とされ、その証しとして銀行の残高証明が求められます。備考欄をご覧のうえ、あらかじめご了承ください。

【１】英語集中プログラムとサービス・ラーニングを履修する場合（プレイスメントテストの結果が Level3 以上で、スピーキングテストに合格した場合、選択可能）：
★Fall Term：英語集中プログラム
★Winter Term：サービス・ラーニング

現地費用	・授業料 ＄3,000/Term ・教材費 ＄200 ・ホームステイ申請費用 ＄350 ・ホームステイ滞在費 ＄225/週 × 21 +＄64.28（日割計算、2 日分） ・サービス・ラーニング ＄1,420 ・空港送迎費（片道） ＄75 ・受入許可証等郵送費 ＄50 合計 ＄9,884.28（＄１≒１１２円で換算して約１１１万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、３０万円程度必要
合　計	１４１万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ取得のため、銀行口座に＄6,000（日本円で約６８万円）以上の残高が必要。
上記費用は、２０１９年度実績額をもとに算定。

【2】英語集中プログラムのみを履修する場合（プレイスメントテスト・スピーキングテストの結果不問）：

★Fall Term：英語集中プログラム

★Winter Term：英語集中プログラム

現地費用	• 授業料 $ 3,000/Term（×2） • 教材費 $ 400 • ホームステイ申請費用 $ 350 • ホームステイ滞在費 $ 225/週× 25 +$ 96.42（日割計算、3 日分） • 空港送迎費（片道）$ 75 • 受入許可証等郵送費 $ 50 合計 $12,596.42（$１≒112円で換算して約１４２万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、30万円程度必要
合　計	172万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ取得のため、銀行口座に$12,000（日本円で約１３５万円）以上の残高が必要。
上記費用は、2019年度実績額をもとに算定。

【3】英語集中プログラムに加え、コミュニティ・サービスを履修する場合（プレイスメントテストの結果が Level3 以上で、スピーキングテストに合格した場合、選択可能）：

★Fall Term：英語集中プログラム

★Winter Term：英語集中プログラム＋コミュニティ・サービス

現地費用	• 授業料 $ 3,000/Term（×2） • 教材費 $ 400 • ホームステイ申請費用 $ 350 • ホームステイ滞在費 $ 225/週×25 +$ 96.42（日割計算、3 日分） • コミュニティ・サービス $ 750 • 空港送迎費（片道） $ 75 • 受入許可証等郵送費 $ 50 合計 $13,346.42 （$１≒112円で換算して約１５０万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、30万円程度必要
合　計	180万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ取得のため、銀行口座に$12,000（日本円で約１３５万円）以上の残高が必要。
上記費用は、2019年度実績額をもとに算定。

【カナダ】マニトバ大学

★英語研修機関・大学

マニトバ大学（UM: University of Manitoba）の部門のひとつ、エクステンディッド・エデュケイション（Extended Education）で受講します。UMはマニトバ州ウイニペグに本拠地を置く、西部カナダでは最も歴史のある大学。１８７７年の設立で、学生数約２６,０００名（学部約２３,０００名、大学院約３,０００名）の州立総合大学です。

★プログラム内容

４か月または５か月間 英語集中プログラム（IEP：Intensive English Program）を受講します。１週２４時間の学習が４週間で１つの学期になります。レベルは７段階（１００～７００）に分かれていて、２か月で１段階ステップアップします。
上級レベル（７００）では、様々なテーマ（進学準備、リーディング＆ライティング、異文化コミュニケーション、ビジネスベーシックスキル、など）に基づいたクラスの受講が可能です。これらのクラスは月替わりで開講されます。

〇履修コースの一例

４月上旬～６月下旬	→	７月上旬～（８月下旬）
英語集中プログラム（２４ｈ／ｗ）		【上級レベル】（７００）進学準備、リーディング＆ライティング、異文化コミュニケーション、ビジネスベーシックスキル、など
		英語集中プログラム（２４ｈ／ｗ）

※白文字の（　）内は、５か月間履修する場合

★滞在方法

ホームステイ

★参加費用

参加費用の概算額は、以下のとおりです。
また、以下に示す金額の他に、昼食代、通学費、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。

【1】4か月間履修する場合：

現地費用	・申請費用 CAN$ 300 ・授業料 CAN$ 1,330/月（×4） ・ホームステイ申請費用 CAN$ 250 ・ホームステイ滞在費（1 日 3 食） CAN$ 775×4term + CAN193.75（週割計算、1 週分） ・空港送迎費 CAN$ 60 合計 CAN$9,223.75 （CAN$1≒84円で換算して約78万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、30万円程度必要
合　計	108万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、2019年度実績額をもとに算定。

【2】5か月間履修する場合：

現地費用	・申請費用 CAN$ 300 ・授業料 CAN$ 1,330/月（×5） ・ホームステイ申請費用 CAN$ 250 ・ホームステイ滞在費（1 日 3 食） CAN$ 775×5term + CAN193.75（週割計算、1 週分） ・空港送迎費 CAN$ 60 合計 CAN$11,328.75 （CAN$1≒84円で換算して約96万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、30万円程度必要
合　計	126万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、2019年度実績額をもとに算定。

【オーストラリア】グリフィス大学

★英語研修機関・大学

グリフィス大学（GU: Griffith University）の部門のひとつ、ＧＥＬＩ（Griffith English Language Institute）で受講します。GUは、オーストラリア・クイーンズランド州の州都ブリスベンおよびゴールドコーストにキャンパスを有する大学で、オーストラリア最大規模の大学のひとつです。

１８７１年の設立で、学生数約４５,０００名（学部約３５,０００名、大学院約１０,０００名）の総合州立大学です。

★プログラム内容

ＧＥＬＩのＤＥＰ（Direct Entry Program）を１５週間または２０週間受講します。１週２５時間（内、５時間はＧＥＬＩの自己学習計画に基づく個別学習）の学習が５～１０週間で１つの学期になります。レベルは８段階に分かれていて、上級レベルでは、英語圏の大学への進学準備を想定したコース内容となっており、その他のレベルでは、日常的な英語の上達を目標とした一般英語中心の内容になります。１つの学期を修了すると、１段階ステップアップします。

なお、キャンパスは、ネイサン（ブリスベン）とゴールドコーストのいずれかを選ぶことができます。

〇履修コースの一例

Griffith University degree (requiring IELTS 6.5*)

Direct Entry Program

10 - 50 weeks

WEEKS	ENTRY SCORES			
	IELTS Academic	PTE Academic	TOEFL iBT	ISLPR
10	6.0 (no sub-score <5.5)	50 (no Comm Skill <42)	71 (W 19, L,R,S 17)	W3 (2 scores 3, 1 score 2+)
20	5.5 (no sub-score <5.0, W 5.5)	42 (no Comm Skill <36, W 42)	52 (no sub-score <14, W 18)	2+ (all sub-scores)
25	5.5 (no sub-score <5.0)	42 (no Comm Skill <36)	52 (no sub-score <14)	W2+ (2 scores 2+, 1 score 2)
30	5.0 (no sub-score <4.5, W 5.0)	36 (no Comm Skill <30, W 36)	40 (no sub-score <13, W 14)	2 (all sub-scores)
35	5.0 (no sub-score <4.5)	36 (no Comm Skill <30)	40 (no sub-score <13)	W2 (2 scores 2, 1 score 1+)
40	4.5 (no sub-score <4.0, W 4.5)	30 (no Comm Skill <29, W 30)	33 (no sub-score <12, W 13)	1+ (all sub-scores)
45	4.5 (no sub-score <4.0)	30 (no Comm Skill <29)	33 (no sub-score <12)	W1+ (2 scores 1+,1 score 1)
over 45	4.0 or lower	29 or lower	32 or lower	1 or lower

Key: W = Writing, L = Listening, R = Reading, S = Speaking, < = less than, Comm Skill = Communicative Skill.
*Check the English language entry requirements for your degree at **griffith.edu.au/international-study**

上記ＤＥＰを、次の期間受講します。なお、Griffith University Degree科目を履修することはできません。

・４月中旬から８月上旬までの１５週間
・４月中旬から９月上旬までの２０週間

★滞在方法

ホームステイ

★参加費用

参加費用の概算額は、以下のとおりです。
また、以下に示す金額の他に、昼食代（平日２食・週末３食プランの場合）、通学費、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。

【１】１５週間履修する場合：

現地費用	・申請費用 AUS$ 225 ・授業料 [教材費含む] AUS$ 360/週（×15 週間） ・ホームステイ申請費用 AUS$ 290 ・ホームステイ滞在費 [1日3食] AUS$ 320/週（×15）＋ AUS$ 45.71/泊（3 泊） [平日2食・週末3食] AUS$ 290/週（×15）＋ AUS$ 41.43/泊（3 泊） ・OSHC [海外留学生保険]（5か月）AUS$ 380 ・空港送迎費 AUS$135 合計 AUS$１０,９０４.２９ ※平日２食・週末３食プランを選択した場合 （AUS$１≒７５円で換算して約８２万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、３０万円程度必要
合　計	１１２万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、２０１９年度実績額をもとに算定。
日本国籍以外の方は、授業料が異なります。

【２】２０週間履修する場合：

現地費用	・申請費用 AUS$ 225 ・授業料 [教材費含む] AUS$ 360/週（×20 週間） ・ホームステイ申請費用 AUS$ 290 ・ホームステイ滞在費 [1日3食] AUS$ 320/週（×20 週間）＋ AUS$ 45.71/泊（3 泊） [平日2食・週末3食] AUS$ 290/週（×20 週間）＋ AUS$ 41.43/泊（3 泊） ・OSHC [海外留学生保険]（6か月）AUS$ 400 ・空港送迎費 AUS$135 合計 AUS$１４,１７４.２９ ※平日２食・週末３食プランを選択した場合 （AUS$１≒７５円で換算して約１０７万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、３０万円程度必要
合　計	１３７万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、２０１９年度実績額をもとに算定。
日本国籍以外の方は、授業料が異なります。

【フィリピン】 アテネオ･デ･マニラ大学

★英語研修機関・大学

アテネオ･デ･マニラ大学（ADMU: Ateneo de Manila University）の部門のひとつ、ＡＬＬＣ（Ateneo Language Learning Center）で受講します。ＡＤＭＵは、マニラ首都圏を構成するケソンシティの文教地区に位置しています。キャンパス内は、セキュリティが厳格で治安面での心配はありません。フィリピンの大学トップ３の常連校です。

１８５９年にカトリックのイエズス会により設立。学生数約１４,０００名（学部約１０,０００名、大学院約4,０００名）の総合私立大学です。

★プログラム内容

ＡＬＬＣの英語集中プログラム（IELP: Intensive English Language Program）を１５週間または２０週間受講します。１週24時間の学習が５週間で１つのモジュールになり、３または４モジュール受講します。レベルは４段階に分かれていて、上級レベルでは、英語圏の大学への進学準備を想定したコース内容となっており、その他のクラスでは、日常的な英語の上達を目標とした一般英語中心の内容になります。１つの学期を修了すると、１段階ステップアップします。

○履修コースの一例

英語集中プログラム（ＩＥＬＰ）

モジュール名	開始・終了	備　考
モジュール３	４月上旬 ～ ５月上旬	
モジュール４	５月中旬 ～ ６月中旬	
モジュールA	７月上旬 ～ ８月上旬	
※モジュールB	８月中旬 ～ ９月中旬	２０週受講する場合

★滞在方法

キャンパス内の寮（２人または４人部屋）

★参加費用

参加費用の概算額は、以下のとおりです。また、以下に示す金額の他に、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。

【１】１５週間履修する場合：

現地費用	• 授業料 $ 600 / Module（×3Modules） • 寮費 PHP 72,500（４人部屋の場合） • 食費 PHP 350/日（×150 日） • SSP, ACR-I Card fees PHP 20,000 合計 ＄1,800 ＋ PHP145,000 （PHP1≒2.2円、＄1≒112円で換算して約53万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、１５万円程度必要
合　計	６８万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、２０１９年度実績額をもとに算定。

【２】２０週間履修する場合：

現地費用	• 授業料 $ 600/Module（×4Modules） • 寮費 PHP 94,500（４人部屋の場合） • 食費 PHP 350/日（×180 日） • SSP, ACR-I Card fees PHP 20,000 合計 ＄2,400 ＋ PHP177,500 （PHP１≒2.2円、＄１≒１１２円で換算して約６６万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、１５万円程度必要
合　計	８１万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、２０１９年度実績額をもとに算定。